

病害虫防除技術情報第 10 号

平成 24 年 7 月 11 日
三重県病害虫防除所

斑点米カメムシ類の本田での発生量はやや多い予想です

1. 対象作物： イネ

2. 対象病害虫名： 斑点米カメムシ類（ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカスミカメ）

3. 発生状況： やや多い

1) 巡回調査（7月第1週）における、畦畔イネ科雑草 20 回振すくい取りの結果、中型種（ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類）の発生地点率は 40.6%（平成 31.9%）、成虫数は 1.4 頭（平成 1.2 頭）と、平成よりもやや多い状況です（表）。また微小種（アカスジカスミカメ）の発生地点率は 36.3%（平成 17.8%）、成虫数は 5.5 頭（平成 2.0 頭）と、平成より多くなっています（表）。

2) 同調査において、ホソハリカメムシおよびシラホシカメムシ類は、平坦地、中山間地ともに広い範囲で発生が確認されました。クモヘリカメムシは山林周辺の圃場で、またアカスジカスミカメは北勢地域を中心に発生が多い傾向がありました。

表 畦畔イネ科雑草における斑点米カメムシ類の発生状況(20回振すくい取り)(2012年7月)

調査年	調査地点数	中型種						微小種	
		ホソハリカメムシ		クモヘリカメムシ		シラホシカメムシ類		アカスジカスミカメ	
		発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数
本年	160	28.8	0.5	6.3	0.6	15.6	0.3	36.3	5.5
平成値	—	24.1	0.6	6.1	0.4	10.2	0.2	17.8	2.0
平成比		やや多		やや多		多		多	

4. 防除上の注意事項

1) 畦畔やのり面、休耕田などのイネ科雑草で増殖します。出穂 10 日前までに除草を徹底しましょう。

2) 薬剤防除は穂揃い期に散布しましょう。広域での一斉防除が効果的です。

3) 例年、被害の多い地域では、穂揃い期とその 7~10 日後の 2 回散布を実施してください。

4) 予想出穂期は平成に比べて 2~4 日遅い見込みです。生育予測システム（農業研究所・品種コシヒカリ）によると、津（4月25日移植）7月19日、上野（5月10日移植）7月27日の予想です（7月9日現在）。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。